

Waca.p

和歌山県文化情報誌
ワカピー

Vol.117



特集～輝く文化 創造する未来……………2・3

イベントスケジュール……………4・5

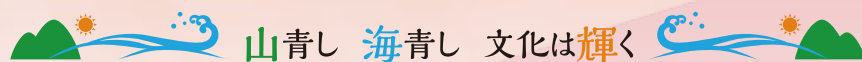
和歌山県文化表彰受賞者……………6

南葵音楽文庫普及会発足……………7

ピックアップインフォメーション……………8

今年の和歌山県新人演奏会合格者
11月9日 第53回本演奏会 出演

未来へ繋ぐ



国民文化祭の 気運を受け継ぐ



きのくに文化月間

令和7年11月1日(土)～11月30日(日)

毎年11月は「きのくに文化月間」。「紀の国わかやま文化祭2021(国民文化祭)」で育まれた文化振興の機運をさらに高めるとともに、障害の有無にかかわらず、一人ひとりが主体的に文化芸術活動に参加し、また、次世代を担う青少年にはより一層、文化芸術への関心を深めてもらいたいと願って制定されました。期間中は県内全域で、美術、音楽、演劇、伝統芸能などさまざまな文化事業が行われます。この機会にぜひ、和歌山の文化芸術にふれてみませんか。

希望が見出せる舞台

きのくに文化月間には、今年も県内各地で多彩な連携事業が目白押しです。このうち、劇団ノスタルジア(岡崎義章さん主宰)は11月16日(日)午後1時30分～と5時30分～の2回、和歌山県民文化会館で第23回公演「贖作 あゝ無情」を上演します。

「最近ではできる限り舞台装置をミニマムにすることで観る人の想像力をかき立て、お客様と一緒に物語を紡いでいく演劇を心がけています」と岡崎さん。1986年の旗揚げ以来、スピーディな場面転換やパントマイム、ストップモーションなどで独自の世界観を作りあげてきました。初期の公演では舞台上にバイクを走らせるなど演出のユニークさも持ち味でしたが、回を重ねるうちに「具体的な小道具がな



観客の想像力がかき立てられる劇団ノスタルジアの舞台(昨年の公演より)

いことで世界が広がる」と考えるように。今回もパリのような江戸のような、架空の街を舞台に、説明的な道具に頼らず演技の力で魅せていきます。

同劇団の特長は全てオリジナル作品であること。実社会を反映した物語が多く、最近ではイスラエルやウクライナなど国際情勢を織り交ぜながら構成しています。

今公演はタイトル通り、ヴィクトル・ユーゴーの名作『レ・ミゼラブル』がモチーフ。しかし、登場人物それぞれの生きざまが浮かび上がる群像劇となっており、「武器を持たない市民たちが立ち上がる姿」をテーマに、笑いと感動の人間模様が描かれます。

「すべての作品に共通しているのは、最後に少しの

希望を持たせることと、観客の皆さんに心から楽しんでもらうための細やかな工夫。今回は、無情な中でも希望が見出せて、観た人が元気になるような舞台にしたいと思っています。『レ・ミゼラブル』を知らなくても楽しめ、知っている人はより深く味わっていただける劇。ラストがどうなるかは、どうぞお楽しみに」

同劇団では、大学生や高校生を対象とした演劇ワークショップや小学校の授業などを通して、若き演劇人の育成にも積極的に取り組んでいます。「一緒に舞台を作ったこともたちが大きくなって観に来てくれたり、入団を希望してくれるのがうれしい」と、次なる世代を温かく見守っています。



「贖作 あゝ無情」の稽古風景

今年度の連携事業のパンフレットは、
こちらからダウンロードできます▶



文化の輝き

創作意欲を高める「県展」「ジュニア県展」

「県展」の名で広く親しまれている「県美術展覧会」。昭和22年から実施されている県内最大の公募展で、入選・入賞作品は県立近代美術館で展示されます。また、上富田、橋本、新宮の県内3カ所でも、入賞作品と各地域の入選作品が展示されます。一方、こどもたちの作品創作意欲を高めるため、平成27年に始まった「県ジュニア美術展覧会」は今年で11年目。和歌山の文化を支える両展を紹介します。



県展会場

芸術文化振興の場

県内最大の公募による展覧会「県展」は、審査・選考を通じて優れた作品を県民に紹介し、創作意欲や芸術文化のさらなる振興につなげることを目的とした県主催の展覧会。洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑、華道の7部門があり、それぞれの専門家によって優れた作品が選ばれます。対象は高校生以上で、ベテランも多数参加しますが、美術家の登竜門としての側面もあることから、近年では力試しとして挑戦する若い方も増えています。

県展への応募は、作品を専門家に評価してもらえる貴重な機会となります。自分に取り組んできたことに対しての力量が可視化され、どうすればさらに良くなるのか、逆に何が足りなかったのかを気づき、より表現に芸術性を持たせるきっかけになります。

対して、小中学生を対象としたジュニア県展は絵画、書、立体の3部門で実施。こどもたち自身のひらめきや表現したいと思ったことを独自の視点で形にしたオリジナリティあふれる作品が集います。審査員は作品だけを判断材料として評価するため、作者の意図が大きな意味を持てます。毎年、「作りたい」という意欲や主体性がいきいきと伝わる作品が揃い、こどもたちの創意工夫が見どころとなっています。

今年は、書部門で作品内の記名がなくなりました。通常は記名が必須ですが、これをあえてなくすことで生まれる余白を活用し、より自由にのびのびと、表現の幅を広げてほしいとの願いが込められています。

... ..

県展、ジュニア県展は右記のスケジュールで開かれます。いずれも和歌山の文化の息吹を感じる力作ぞろい。ぜひ足を運んでみてください。



ジュニア県展会場風景

県展



ジュニア県展



地方展

県展 ジュニア県展

上富田展

●11月12日(水)～11月16日(日)
9:00～17:00
●上富田文化会館

橋本展

●11月20日(木)～11月24日(月・休)
10:00～17:00
●和歌山県立橋本体育館

新宮展

●11月28日(金)～12月3日(水)
10:00～17:00
●丹鶴ホール ※12/1(月)は休館

本展

県展

洋画・工芸・彫塑

●12月10日(水)～12月14日(日)
9:30～17:00
●和歌山県立近代美術館

日本画・書・写真

●12月17日(水)～12月21日(日)
9:30～17:00
●和歌山県立近代美術館

華道・招待作家部門

●12月10日(水)～12月14日(日)
9:30～17:00
●和歌山県民文化会館
※12/14(日)は華道のみ15:00まで
(招待作家部門の華道を含む)

ジュニア県展

●12月24日(水)～12月28日(日)
9:30～17:00
●和歌山県立近代美術館

10月

和歌山県出身アーティスト「とっておきの演奏会」

わかふるコンサート2025(全6回) すべて無料(①～③は終了しました)

④ 紀伊風土記の丘「古民家」

10月4日(土) 開演13:30
和歌山市岩橋1411 紀伊風土記の丘
旧柳川家住宅(重要文化財)

⑤ 和歌の浦「万葉館」

10月11日(土) 開演13:30
和歌山市和歌浦南3-1700-2

⑥ 旧和歌山県議会議事堂「一乗閣」

10月18日(土) 開演13:30
岩出市根来2347-22
旧和歌山県議会議事堂(重要文化財)

10月

千住真理子ヴァイオリン・リサイタル

～デビュー50周年記念 ありがとうの感謝を込めて～

10月24日(金) 開演19:00(開場18:30)

和歌山県民文化会館 小ホール

5,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)

千住真理子
©Kiyotaka Saito(SCOPE)

10月

「おかあさんといっしょ」ファンターネ! がやってきた

10月26日(日) 開演①13:00 ②15:30 開場(開演の各30分前) **[好評発売中]**

和歌山県民文化会館 大ホール

3,200円 ※全席指定(1歳以上有料。1歳未満のお子様は、保護者1名につき1名ひざ上無料) ※会館では、グッズ付きチケットの取り扱いはありません



©NHK

11月

第53回 和歌山県新人演奏会 オーディション合格者達による輝きのステージ

11月9日(日) 開演13:30

和歌山県民文化会館 大ホール 1,000円 高校生以下無料 ※全席自由(未就学児入場不可)

[マリンバ]
①田村 伸晃[ピアノ]
②櫻井 里菜[ピアノ]
③小川 奈乃佳[ヴァイオリン]
④上野 遥夏[オーボエ]
⑤桂 光姫[バストロンボーン]
⑥竹田 一貴[ピアノ]
⑦野崎 愛[ヴァイオリン]
⑧清水 愛萌[クラリネット]
⑨食野 孝太郎[ヴァイオリン]
⑩桑原 七音[ピアノ]
⑪池田 彩乃

選考オーディションに合格した若き演奏家たちの夢の舞台。みなさんの応援をお待ちしています!

(①～⑪出演順)

11月

令和7年度優秀映画鑑賞推進事業「名作シネマシアター」

11月19日(水) 上映10:30～(開場10:00)

[好評発売中]

和歌山県民文化会館 大ホール

上映作品「秋刀魚の味」「麦秋」「東京物語」

前売400円(当日450円) ※全席自由(未就学児入場不可)

「秋刀魚の味」



令和8年1月

南葵音楽文庫寄託記念

読売日本交響楽団 ニューイヤー・コンサート

華麗なる《新世界》

令和8年1月6日(火) 開演19:00(開場18:30)

和歌山県民文化会館 大ホール

S席 5,000円 A席 3,500円

※全席指定(未就学児入場不可) ※団体割引あり

演奏曲目

ベートーヴェン:「エグmont」序曲
ラヴェル:ピアノ協奏曲 ト長調
ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界から」

大好評発売中



©読響

[指揮] 大友 直人
©Rowland Kirishima[ピアノ] 福岡 洸太郎
©Shuga Chiba



ホームページ



X (旧 Twitter)



Instagram

主催

●和歌山県

●(一財)和歌山県文化振興財団

令和
8年
1月

ウクライナ国立歌劇場オペラ「アイダ」(全4幕)

150年以上の伝統を受け継ぐ名門歌劇場が贈る、傑作オペラ「アイダ」。ソリスト、合唱団、管弦楽など併せ、総勢150名の大規模なオペラ公演をお見逃しなく!!

令和8年1月16日(金) 開演18:30(開場17:45) **【好評発売中】**

和歌山県民文化会館 大ホール

S席 18,000円 A席 14,000円 B席 11,000円 C席 8,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)

令和
8年
1月

元「劇団四季」俳優による「はじめてのミュージカル」体験<参加者募集>

令和8年1月18日(日) 13:00~15:00

和歌山県民文化会館 大ホール

講師:ミュージカルプロ養成校 ダンスオブハーツ

末谷満(元劇団四季俳優)・山本靖子(元劇団四季俳優)・カンパニーメンバー

参加無料●ハガキで参加受付中[11月30日(日)必着]
(応募者多数の場合は抽選)

定員40名 ※小学生から30歳まで

令和
8年
1月

長谷川義史 絵本ライブ in 上富田

『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』『いいからいいから』などで有名な人気絵本作家!

令和8年1月24日(土) 開演13:30(開場13:00)

上富田文化会館 文化ホール(入場無料)



長谷川義史

令和
8年
2月

野村萬斎狂言会《ようこそ!! 笑空間へ》

令和8年2月6日(金) 開演18:30(開場18:00)

和歌山県民文化会館 大ホール

[一階席]一般 6,500円 小学生~高校生 3,500円

[二階席]一般 4,000円 小学生~高校生 2,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)

●けんぶん友の会優先電話予約/11月20日(木)10:00~

●一般販売/11月27日(木)10:00~



野村萬斎

令和
8年
2月

伝統文化体験「けんぶん DE 体験教室」<受講者募集>

令和8年2月23日(月・祝)

和歌山県民文化会館 会議室等

※申込時に名前・教室名(番号)・

住所・連絡先・年齢をお伝えください

※複数教室受講可能

※定員になり次第締め切り

●申込受付/10月20日(月)10:00~

【開催教室】

※詳細はチラシをご覧ください

- ①日本の伝統楽器「箏体験教室」
- ②中高年から始める「らくらくピアノ教室」
- ③こども落語ワークショップ
- ④はじめてのウクレレ教室
- ⑤三味線体験教室
- ⑥フルートであそぼう
- ⑦中国二胡入門講座

- ⑧楽しい腹話術体験!
- ⑨ナチュラルフラワーアレンジメント
- ⑩ピースの木 作り
- ⑪押し花教室
- ⑫現代川柳教室
- ⑬リコーダー感覚で音が鳴らせる「尺八体験教室」
- ⑭超かんたん! 消しゴム印を作るう 入門編

- ⑮ブータン刺繍体験
- ⑯家族で楽しく音楽体験
- ⑰フラメンコを踊ってみよう!!
- ⑱マインドフルネス&太極拳
- ⑲1day新舞踊体験
- ⑳やさしい日本舞踊
- ㉑簡単だれでもすぐできる「操体法」で健康な暮らしを!!

令和
8年
3月

辻井伸行 日本ツアー2026《抒情と熱情》

令和8年3月1日(日) 開演14:00

和歌山県民文化会館 大ホール

S席 8,500円 A席 6,500円 B席 4,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)

●けんぶん友の会優先電話予約/11月17日(月)10:00~

●一般販売/11月25日(火)10:00~



辻井伸行 ©Yuji Hori

令和
8年
3月

ケロポンズ ファミリーコンサート

令和8年3月7日(土) 開演14:00(開場13:30)

新宮市文化複合施設「丹鶴ホール」

一般 2,500円 小学生以下 500円 ※全席指定

●けんぶん友の会優先電話予約/12月5日(金)10:00~

●一般販売/12月12日(金)10:00~



和歌山県文化表彰受賞者



動物生態学者 堀 道雄 さん ほり みちお

1948年大分県出身。77年京都大学理学研究科博士課程を修了後、同年より和歌山県立医科大学で教鞭を取る。94年から京都大学で助教授、教授を歴任。水生動物の左右性の発見、ハンミョウの研究で著しい成果を残す。県立自然博物館協議会委員、同評価部会委員。後進の育成にも尽力する。



好きな研究を、自由に

水生動物の 左右性を発見

人間やほ乳類だけの特性と考えられがちな「利き手」または「左右性」について、魚類、さらに他の水生動物も右利き個体と左利き個体からなることを発見しました。

魚類の研究は和歌山医大に就職後、かつての指導教授と共に始め、約40年にも及びました。アフリカのタンガニイカ湖には魚の鱗を剥ぎ取って餌とする鱗食魚が生息しています。



各地で撮影したハンミョウ類の写真とともに

その結果、少数派が多数派に転じるからです。この研究は種内二型の維持機構として、米科学アカデミーの「Science」誌に掲載され、大いに注目を集めました。その後の研究により、全ての魚類、さらに甲殻類のエビやカニ、頭足類のコウイカも同様の左右性を持ち、個体群内の二型

この魚は個体ごとに口が右か左かにねじれて開き、右型は獲物の左後ろから、左型は右後ろから襲撃して鱗を剥ぎ取ります。

この左右性は遺伝形質であり、右型は右利き、左型は左利きと言えます。集団中の右利きと左利きの比率は1…1を中心に数年周期で変動しながら、2…1から1…2の範囲に維持されています。それは、被食者が多数派の利きの鱗食魚を警戒することで少数派が鱗を沢山取れるようになり、

が維持されていることを実証しました。

「思いもしなかった世界が次々と開けた時は、研究心も最高度に高揚し、寝る間も惜しんで没頭しました」

ハンミョウ類の 生態研究に従事

一方で、1973年の大学の卒業研究から続くハンミョウ類の生態研究でも目覚ましい成果をあげています。ハンミョウとは全長1センチ内外、大きく鋭いアゴを持ち、他の小昆虫を捕食する肉食性の甲虫です。害虫でも益虫でもないためよく調べられていないことが研究を始めた理由ですが、その多様性と生態の面白さに魅了されました。

1975年には、白浜町日置川河口で希少種のヨドシロヘリハンミョウを発見。2016年に和歌山県がこの種を天然記念物に指定する際、生態や学術的価値、地域指定の範囲など多くの助言を行いました。大学退職後も年に数回はア

フリカや東南アジアの各国でハンミョウの生態研究を継続。2019年には日本産ハンミョウ類の学術書を出版しました。新種を発見すると、家族の名前にちなんだ学名を付けることもあるそうです。

現在は、和歌山県立自然博物館協議会委員を務めています。2021年から3年間は「わかやまネイチャー・アワード」の審査にも携わり、自然環境保全の未来を担う人材育成にも貢献しています。

「打ち立てた仮説を実証するために、様々な角度からのデータを粘り強く集め、自らで答えを導き出せるのが研究の魅力。『好きな研究を好きなように』をモットーに、今後も研究活動に取り組みたいです」自然科学の発展に寄与してきた熱い眼差しの中には、次なる研究目標がはつきりと映し出されています。



水生動物の左右性やハンミョウ類の専門書の執筆・編集にも多数携わる

世界に誇る
約2万点のコレクションを広めよう

南葵音楽文庫 普及会発足

各地でコンサート開催

“音楽の殿様、”と呼ばれるほど西洋音楽に精通していた紀州徳川家第16代当主、徳川頼貞。彼が集めた世界中の音楽にまつわる、約2万点にもおよぶ資料の数々が、和歌山県立図書館（和歌山市西高松）に「南葵音楽文庫」として所蔵されています。この貴重なコレクションを、国内、そして世界に向けて発信しようと今年4月、有志によって「南葵音楽文庫普及会」が結成されました。

「南葵音楽文庫」って？

徳川頼貞が父、頼倫の設立した私設図書館「南葵文庫」に音楽部門を附設したことから始まります。大きな被害をもたらした関東大震災や第二次世界大戦などを経て、1977年以降は読売日本交響楽団が所有。2016年にすべての資料が和歌山県に寄託され、県立図書館が管理することになりました。翌年、「南葵音楽文庫閲覧室」がオープン。現在も専門家による研究や整備が進められています。

普及会の活動は？

会長に和歌山市のピアニストで相愛大学、大学院講師の宮下直子さん、名誉顧問相談役にヴァイオリニストで東京藝術大学名誉教授の澤和樹さんが名を連ねています。

主に、観光の活性化や地域社会の



▲宮下直子会長と澤和樹名誉顧問相談役

文化発展、そして同文庫をより身近に感じてもらうと、「まちなかコンサート」を年10回開催予定。県内だけでなく、大阪、神戸、京都などでも実施し、周知に継続して取り組みます。まちなかコンサートはすべて観覧無料でを行い、寄付を募って運営します。

特に10月2日㊦、3日㊧は、東京都台東区にある旧東京音楽学校奏楽堂で「南葵音楽図書館100年コンサート」を開催。同館には、頼貞が1918年に建設した日本初のクラシック音楽専用ホール「南葵楽堂」のためにヨーロッパから取り寄せたパイプオルガンが移設されています。1920年に開催された、パイプオルガンの落成コンサートのプログラムが、記念の演奏会に花を添えます。

詳しい情報は
公式ラインを
ご覧ください。



活動実績と、これからの取り組み

コンサート

2025年 7/4	南葵音楽文庫普及会発足記念～ 音楽の殿様・紀州徳川家の南葵音楽文庫を知ろう！～ 南葵！まちなかコンサート 和歌山 会場：和歌山県立図書館2F メディア・アート・ホール
7/6	奈良！まちなかコンサート 会場：奈良市音声館エントランス
8/16	神戸！まちなかコンサート 会場：兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリー
8/17	和歌山城！まちなかコンサート 会場：和歌山城ホール3F リハーサル室
9/1	南部中学！まちなかコンサート 会場：みなべ町立南部中学校体育館
9/1	夜の和歌山城！まちなかコンサート 会場：和歌山城ホール1F展示室
10/2 10/3	南葵音楽図書館 開館100年コンサート ～パイプオルガンと蔵出し演奏会～ 会場：旧東京音楽学校奏楽堂 チケット：4,000円
10/18	岸和田！まちなかコンサート 会場：岸和田市立自泉会館ホール
11/3 (文化の日)	紀州徳川の残した世界的音楽遺産 南葵音楽文庫100年！の集い 記念講演と演奏 会場：和歌山県立図書館メディア・アート・ホール
11/15	レトロ喫茶！まちなかコンサート 会場：和歌山市ぶらくり丁 純喫茶・翡翠
12/27	京都！まちなかコンサート 会場：あいのまちグレースホール
2026年 2/7	南葵音楽文庫 まちなかニューイヤーコンサート 会場：和歌山市西コミュニティセンター
2/21	南葵音楽図書館 開館100年コンサート 会場：和歌山県立図書館2Fメディア・アート・ホール チケット：4,000円

和歌山県立図書館の南葵イベント
南葵徳川音楽塾・南葵音楽文庫アカデミー
(いずれも会場は和歌山県立図書館内・南葵音楽文庫閲覧室)

2025年 6/14	【第1回】南葵徳川音楽塾 徳川頼倫を知っていますか 100年目の展示会プレビュー 講師：美山良夫（慶應義塾大学名誉教授）
7/19	【第2回】南葵徳川音楽塾 フランス音楽への誘い モーリス・ラヴェルを聴く 講師：近藤秀樹（大阪教育大学講師）
9/20	【第3回】南葵徳川音楽塾 徳川頼倫の図書館論を読む 講師：林淑姫（旧日本近代音楽館主任司書）
11/15	【第4回】南葵徳川音楽塾 カミングス文庫収蔵ヘンリー・パーセル 《ディドとエネアス》手写楽譜とプリテン 講師：佐々木勉（元名古屋音楽大学教授）
2026年 2/21	【第5回】南葵徳川音楽塾 モーリス・ドラージュと東洋 講師：柚木たまみ（滋賀短期大学教授）
2/22	南葵音楽文庫アカデミー 重要資料報告会 徹底討論 徳川頼貞と南葵音楽文庫 （仮、ごちらのみ会場は県立図書館2F講義・研修室） パネリスト：美山良夫 佐々木勉 近藤秀樹 林淑姫



▲7/4に開催されたまちなかコンサート。ソプラノの瑞樹比美香さんの歌声と、兼子万実子さんのピアノ、古久保有亜さんのヴァイオリンの音色がホール中に響き渡り、観客はパフォーマンスに魅了されました。

ピックアップインフォメーション

片男波公園＜万葉館＞

企画展「水墨画展」

10月10日(金)～2026年1月12日(月・祝)
9:00～17:00 ※最終日は15:00まで

和歌山で活動している水墨画講師、三浦賢三さんとその生徒の水墨画約26点を展示。水墨画の魅力いっぱいの作品が並びます。



三浦賢三さん「雨情 高橋山」

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎073-446-5553 9:00～17:00(入館16:30まで)
※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤入館無料

和歌山県立博物館

特別展「紀伊徳川家の威風」

10月11日(土)～11月24日(月・休)

紀伊徳川家は、江戸時代の和歌山城主で、現在の和歌山県や三重県南部に広がる紀伊藩を治めました。尾張・水戸とともに御三家として將軍家を支え、8代將軍吉宗や14代將軍家茂を輩出しました。この特別展では、紀伊徳川家の歴史を、関連する資料から紹介します。



和歌山県指定文化財
六間筋兜 徳川家康所用
(紀州東照宮蔵)

※11月25日～2026年7月31日まで工事のため休館

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤特別展/一般910円(750円)、大学生570円(450円) ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

令和7年度休館記念秋期特別展

「遙かなる古墳時代の海へー紀伊半島と海をめぐる交流ー」

10月4日(土)～12月7日(日)

1500年前、海とともに暮らした紀伊半島の人々。船、祈り、墓、漁、塩、人の行き来などから、海を中心とした人々の交流を紹介します。4m以上の古墳時代の船も展示。



泉山古墳喪船(広陵町教育委員会蔵)

展示講座「展示解説」11月30日(日)13:30～15:30

■費用:入館料+関連講演会と共通の資料集代(500円) ■定員:30名
■申込:電話または紀伊風土記の丘ホームページから(11月14日⑤13:00から受付)

和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123 9:00～16:30(入館16:00まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤特別展/一般400円(320円)、大学生240円(180円) ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山県立近代美術館

特別展「生誕120年 村井正誠展

色のやどり・形のうぶすな」

9月27日(土)～11月30日(日)

村井正誠の探究は、国境を越え、あらゆる時代に通じる表現としての抽象絵画に至りました。あらためて、その芸術が育まれた場所、時、人との関わりに作品の故郷を探しましょう。



村井正誠「強そうな人」1989年 油彩、キャンバス 和歌山県立近代美術館蔵

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日) ⑤特別展/一般800円(640円)、大学生500円(400円) 同時開催の「MOMAWコレクション 名品選」及び「MOMAWコレクション 現代の美術」も観覧可能 ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立自然博物館

講演会「動物園生活40年ー日本の動物たちとともにー」

11月3日(月・祝)14:00～15:30

元恩賜上野動物園園長の小宮輝之さんが、飼育員だからこそ見えてきた動物たちの意外な生態などについてお話しします。



■場所:和歌山県立自然博物館 レクチャールーム
■対象:小学生以上
■費用:入館料 ■定員:60名
■申込方法:電話申し込み先着順

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ⑤一般480円(350円) ※高校生以下、65歳以上、障害者は無料。団体割引あり(20名以上)

橋本市郷土資料館

歴史と文化学ぶ新施設

橋本市の「郷土資料館」と「あさもよし歴史館」が統合移転し、4月に開館した施設。常設展示室では、交通の要衝として発展してきた同市の歴史を、「陸(おか)のみち」「祈りのみち」「川のみち」「人々の暮らし」のテーマ別に紹介。貴重な文化財を間近で見られるほか、クイズや映像でも解説しています。日本初のオリンピック女子水泳金メダリスト・前畑秀子さんらの活躍を伝える「郷土の偉人」コーナーのほか、川上船のフォトスポットもあります。



橋本市橋谷1番地1(紀見地区公民館との複合施設)
☎0736-25-5150 9:00～17:00(入館16:30まで)
※月曜(月曜が休みの場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始(12/29～1/3)
⑤無料 ※特別展示室は観覧料が必要な場合あり

けんぶん友の会のご案内

うれしい会員特典

☆入会金・年会費「無料」

☆主催公演チケットの
優先予約

☆文化情報の発送(年4回)



その他特典も!詳しくはお問い合わせください。

問合せ

和歌山県民文化会館友の会事務局
〒640-8269 和歌山市小松原通 1-1
☎073-436-1331



※本冊子掲載の情報は令和7年9月5日現在のものです。以降、日程変更や中止等の場合がありますので、お出掛けの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。

※ 表紙のひと ※

第53回 和歌山県新人演奏会 出演の皆さん(オーディション合格者)

1973年に若手音楽家の登竜門として始まり、昨年までに866人の優れた才能を発掘し、演奏会を通じて広く紹介。半世紀以上にわたる歴史と伝統を兼ね備え、和歌山県の音楽文化の振興、向上に大きく貢献してきました。53回目を迎える今年の演奏会には、8月のオーディションで選ばれたピアノ、ヴァイオリン、マリンバ、バストロンボン、オーボエ、クラリネットの演奏家11人が出演。11月9日(日)、県民文化会館大ホールで一堂に会し、これまで磨いてきた腕前を存分に披露し、フレッシュな音色を響かせます。



和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts Power

発行/和歌山県

編集・問い合わせ/一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

ホームページアドレス/ <http://www.wacaf.or.jp>

2025年10・11・12月号 令和7年10月発行 Vol.117

Waca.p